

日本共産党平塚市議会議員団



地域整備、まちづくりは市民参加・市民との協働で

高山 和義 議員

平塚駅周辺地区活性化ビジョン

問 駅周辺地区の位置付けをどう捉えているか。

答 子育て支援 地域交流などの都市機能の集積とまちなか居住を目指していく。

問 買い物客のための駐輪場をつくれませんか。

答 障がい者の意見も取り入れるべきではないか。

問 旭南地域の地域医療福祉拠点整備モデル地区構想

問 地域内の移動手段をどのように考えているか。

は若手商業者だけでなく、多くの市民に参加してもらうべきではないか。

このほかの質問 防災対策

日本共産党平塚市議会議員団 所属議員



渡辺 敏光 議員

議会図書室のご案内

議会には、議員の調査研究のため、図書室の設置が法律により義務付けられています。

本市議会では、開かれた議会とするため、市役所本館8階の議場前の開放したスペースに議会図書室を設け、市民・議会・行政が共同で利用できる環境をつくりました。

議会図書室には、白書などの政府刊行物や市の行政資料、地方自治や政策に関する書籍・雑誌などがあります。

また、会議録や議会だよりを配架し、情報発信に努めています。

ご利用いただける時間は、午前8時30分から午後5時までの間となります。

市役所にお越しの際にはぜひお立ち寄りください。



無所属



国民健康保険税、毎年値上げ 子どもの負担分は免除を

江口 友子 議員

問 国民健康保険税を毎年値上げしている。所得250万円の40代夫婦と子供2人のモデル世帯で、平成31年度はいくらになるのか。

答 によるものなのか。健康・こども部長 国の制度改革があり、県が運営方針を出した。今までの一般会計から国民健康保険事業特別会計への決算補てん目

的の繰入金を減らすこと、負担割合を標準税率に近づけることが言われており、値上げにつながった。

問 繰入金を減らせれば急に保険税が上がるので、様子を見ながら検討するとして自治体もある。試算すると値上げでモデル世帯の可処分所得は月15万円程度

になる。これは生活保護制度の生活扶助基準額を下回る。繰り入れを続けると国や県から罰則があるのか。

健康・こども部長 県の方針に罰則の記載はないが将来的に想定される。過去10年間で約140億円の繰入金で国民健康保険を支えしてきた。しかし、繰入金

は受益を得ていない人のお金でもある。それを続けるのはどうかと考えている。

問 職員の休職者数の推移を伺う。

総務部長 平成27年度が18人、28年度が22人、29年度が32人となっている。

問 この急激な値上げは何

を聞いたらどうか。

市民部長 横浜市では、外部委託により各区役所の来庁者を対象とした調査を実施し、窓口サービス向上に向けた改善に取り組んでいくこととしている。本市では、現在のところ同様の調査は行っていないが、31年度予定している窓口業務の外部委託化において、年2回の市民満足度調査の実施を定めており、この調査の結果も活用しながら、引き続き市民サービスの向上に努めていく。

問 休職者が増えている理由をどう考えているか。

総務部長 全国的に精神及び行動の障がいによる休職者は増加傾向にあり、本市も例外ではない。心身の不調への対策が進んできたことが一つの要因と考える。

問 ワーク・ライフ・バランスをサポートする仕組みが本市にはあるか。

総務部長 イクボス宣言をした職員が率先することで職員に浸透してきている。

問 管理職に占める女性管理職の割合は29年4月1日

現在で17・5%というが、本市に目標はあるのか。

総務部長 32年度末までに20%にする目標がある。

問 目標達成はできるか。

総務部長 増加傾向にあるが、厳しい目標と考える。

問 管理職試験の受験率は約40%である。管理職になりたくない職員が増えている状況をどう考えるか。

総務部長 受験率の向上に取り組んでいきたい。

1面写真を募集

議会だよりの1面に掲載する写真を募集しています。

詳しくは議会局までご連絡ください。(議会局 ☎21-8791)



問 先日、私が市役所1階の窓口の前に到着してから印鑑証明書を1通もらうまで、1時間5分かかった。観察していると、混雑しているのは諸証明発行の窓口だけである。なぜこのように狭い場所、わずかな人数で、たくさん市民を待たせて対応しているのかと不思議な景色であった。横浜市では、平成30年10月15

日から11月9日の間、来庁者を対象に「窓口サービス満足度調査」を実施した。これは毎年実施されており、今年の総合評価は「窓口サービスの全体的な印象」で「満足」「やや満足」との回答が97・6%になったという。本市では、最近このような調査を行ったことはあるか。本市も市役所を利用する市民に意見

を聞いたらどうか。

市民部長 横浜市では、外部委託により各区役所の来庁者を対象とした調査を実施し、窓口サービス向上に向けた改善に取り組んでいくこととしている。本市では、現在のところ同様の調査は行っていないが、31年度予定している窓口業務の外部委託化において、年2回の市民満足度調査の実施を定めており、この調査の結果も活用しながら、引き続き市民サービスの向上に努めていく。

請願・陳情を市議会へ

皆さんの意見や要望を議会に伝え、市政に反映させる方法として請願と陳情があります。

請願は、紹介議員を必要とし、提出後は所管の常任委員会などへ付託し、審査します。その後、委員会審査の結果を本会議に報告し、議会としての採択、不採択などを決定します。

陳情は、請願と同じような性格のものですが、紹介議員を必要としないという違いがあります。提出後は議会運営委員会での取り扱いについて協議します。



声や点字の議会だより

目の不自由な方に市議会の活動をお伝えするため、議会だよりの内容を音声化した「声の議会だより」を発行しています。また、点字版も発行しています。

ご希望の方は議会局までご連絡ください。

問い合わせ 議会局 ☎21-8791

